

第1号議案 2020年度事業報告・決算関係書類承認の件

2020年度事業報告及び決算関係書類

全期

自 2020年3月 1日

至 2021年2月28日

- I 事業報告書
- II 事業報告書の付属明細
- III 決算関係書類（損失処理案を除く）
 - (1) 貸借対照表
 - (2) 損益計算書
 - (3) 注記
- IV 決算関係書類の付属明細書
- V 損失処理案

北見工業大学生生活協同組合

2020年度事業報告書

2020年3月1日から2021年2月28日まで

作成 2021年3月26日

備付 2021年4月12日

北見市公園町165

北見工業大学生協同組合

理事長 白川 龍生

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

1 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給及び 利用事業	物品供給	書籍、文具、教育機器、衣料品、電気製品、家具、その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業。
	サービス提供	国内・海外旅行等の旅行業務を取り扱う事業。アパート・下宿の斡旋および管理する事業。その他日常生活に必要なサービスを提供する事業。
	サービス提供 (フード)	組合員に食事を提供する事業。
その他		組合員のための生命共済、火災共済の業務受託事業。

2 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

◎北見工大生協 2020年総括

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、組合員の生活に甚大な影響を及ぼしました。学位記授与式の中止、入学式の中止及び前期授業開始日の変更など様々な行事が中止あるいは延期となりました。学生のみなさんはオンライン授業を中心とした非対面の講義受講、教職員のみなさんもそのための準備などこれまでに経験のしたことのない生活や大学運営となりました。

このことは生協の事業運営にも大きな影響を及ぼしました。特に、食堂運営に於いてはいかに混雑させずにかつきちんと食事を提供するかという大きな課題がありました。大学とも話し合いを重ねながら、組合員の感染防止、生協従業員の感染防止の観点から前期はテイクアウトを中心とした運営スタイルにすることにしました。組合員のみなさんには不便をかけることとなりましたが、安全を第一に考えたうえでの運営スタイルとしました。

このような中ではありましたが、新入生を迎え入れ・スムーズに新生活がスタートできるようにお部屋の紹介事業やパソコンや電子辞書購入のご案内などこれまで同様に行ってきました。また、教科書販売についても、実家で授業を受ける方にも確実に教科書をお届けできるように、従来の店頭販売と配送による販売を行いました。教科書については昨年並みにご購入していただきました。

日々の利用の面では、前期はすべてオンライン授業でしたので、利用客数は大幅に減少しました。8月末までの利用客数は購買店が昨年の30%、食堂店は22%でした。年間を通して購買は昨年の39%、食堂店は32%でした。

2020年度総代会についても5月に開催の予定でしたが、授業開始遅れなどから開催を延期し6月11日に行いました。実施に当たっても多くの総代の方には書面での参加をお願いするなど感染対策を徹底した中で行いました。総代定数110名のうち4名の実出席、67名の書面出席を頂き2019年度事業報告書と決算報告、ならびに2020年度事業計画等、第1号から第9号議案の承認可決を頂きました。例年開催していました、生協理事・監事・職員と総代さんの交流会は中止としました。

後期からは一部対面授業も実施され、学内にも学生の声が響くようになりましたが、オンライン授業が多く、従来のような生協利用にはなりません。10月には、地産地消イベントを大学と共同で行いました。地元常呂産のほたてを使った丼やフライの提供、また、ほたての親孝行便として学生が北見の味を実家に届ける企画も行いました。

初冬から2月にかけては、一人暮らしの方の水道管凍結予防対策として、不凍液の配布を行いました。特に、長期間不在にしがちな年末年始に集中して配布しました。残念ながら、年末年始の冷え込みが例年より厳しかったこともあり1月に水道管凍結事故が発生してしまいました。引き続き、水道管凍結事故防止を呼び掛けていきます。

利用者数の減少に対応するために営業時間の見直しや職員の賞与見直し等人件費や経費の削減に努めましたが、赤字で終了しました。この状況でも引き続きご利用頂けるように、IC3%プレミアムキャンペーン、食堂利用や購買食品購入での1%ポイント付与などを行いました。

以上、北見工大生協が2020年度行った事業成果としてご報告させていただきます。

◎各部門別まとめ

✓食堂部

感染防止対策として、ホール機の間引きや仕切り版の設置をしました。また、利用されるみなさんにも短時間の利用やテイクアウトの利用をお願いしました。半分程度の方にはテイクアウトの利用をしていただき、三密回避にご協力を頂きました。

後期には前述の地産地消イベントの実施、ミールカードホルダー感謝企画など少ないながらも食堂企画を実施いたしました。

✓購買部

パン弁当おにぎりなど毎日の利用商品は昨年比で50%程度の供給となりました。食堂店と同様に感染防止対策のために短時間の利用を呼びかけました。

PCをはじめとした公費の利用は前年以上にご利用頂きました（昨年比 110%）。3 月には全国的なパソコン不足、また、6 月にはインク等の流通が滞り予定通りにお届けできないなど利用者のみなさんにご迷惑をお掛けすることとなりました。

また、組合員の声などで要望された声には可能な限りお応えし、声を反映させる店舗づくりも進めてきました。組合員の声をもとに入荷した商品についてはそのことがわかるように「組合員の声で入荷しました」POP なども貼り声に応える店舗を作りました。

✓書籍部

教科書販売は概ね前年並みのご利用でしたが、食堂や購買と同様に日々の利用が振るわず予算には達しませんでした。また、TOEIC 等の資格試験などが軒並み延期・中止となり、それに伴いお申込みも激減しました。

✓サービス

2020 年度新入生の 96%（398 人）の方に生協加入、83%（344 人）の方に学生総合共済に加入していただきました。また、病気入院や事故通院・入院などで生命共済加入者の延べ 64 名に約 959 万円、水道管凍結などによる借家人賠償、2020 年 1 月に発生した下宿火災により火災共済に加入の方の延べ 14 名に約 1,653 万円の給付金をお渡しすることができました。

旅行部門は、年間を通して移動の制限・帰省等の自粛・就活のオンライン化等の影響で利用額は前年の約 25%程度でした。

◎2020 年度損失金

2020 年度終了時での税引き後の当期損失金は 5,430 千円となっており、前期繰越剰余金 1,534 千円を加えて 3,896 千円が未処理損失金となります。3,500 千円の任意積立金を取り崩し、396 千円を次期繰越損失金とします。

2020 年度 供給高(本部を除く)累計

	前年実績	予算	実績	予算差異	前年差異
購買	205,029 千円	186,150 千円	177,210 千円	-8,939 千円	-27,818 千円
食堂	110,775 千円	115,070 千円	39,388 千円	-71,387 千円	-75,682 千円
書籍	40,040 千円	40,363 千円	35,391 千円	-4,972 千円	-4,649 千円
サービス	77,260 千円	77,828 千円	45,475 千円	-32,353 千円	-31,785 千円
合計	433,104 千円	419,411 千円	297,464 千円	-121,946 千円	-135,639 千円

2020年度 経常剰余(本部含む)累計

	前年実績	予算	実績	予算差異	前年差異
購買	14,719千円	13,466千円	9,134千円	-4,332千円	-5,585千円
食堂	21,019千円	23,031千円	-6,925千円	-27,945千円	-29,957千円
書籍	-3,412千円	-6,704千円	-4,451千円	2,252千円	-1,039千円
サービス	17,943千円	14,571千円	15,126千円	556千円	-2,816千円
本部	-49,515千円	-41,181千円	-18,128千円	23,053千円	31,387千円
合計	754千円	3,183千円	-5,244千円	-8,427千円	-5,998千円

注意：上記の最終数値から、法人税の納税引当額は約186千円です。

2020年度 利用客数 累計

	前年実績	実績	前年差異	
購買	233,769人	90,255人	-143,514人	38.6%
食堂	241,053人	76,352人	-164,701人	31.7%
書籍	8,610人	4,909人	-3,701人	57.0%
サービス	1,494人	367人	-1,127人	24.6%
合計	484,926人	171,883人	-313,043人	35.5%

事業の推移

(1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況 (単位：千円)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
組合員数(人)	2,390	2,310	2,269	2,130
出資金額	43,223	41,542	41,346	38,498
供給高	415,346	415,314	433,104	297,464
その他利用事業収入	25,022	24,979	27,148	22,721
経常剰余金	3,497	1,212	753	-11,584
総資産	180,039	181,190	171,397	168,924
純資産	77,492	76,523	74,758	68,601

(2) 供給事業

1) 供給高の事業所別内訳 (単位：千円)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
購買店	195,204	193,655	205,029	177,210
書籍店	42,107	39,760	40,039	35,391
食堂店	99,035	100,603	110,775	39,388
サービス店	78,999	81,296	77,261	45,475
合計	415,345	415,314	433,104	297,464

第2号議案 2021年度事業計画・予算決定の件

2021年の課題

組合員の学び・暮らしを支える生協を目指します

新型コロナウイルス感染症の拡大により、大学や社会の状況、また、組合員の生活が大きく変化しました。2020年度は北見工大生協も経営的には甚大な影響を受けました。21年度も引き続きオンライン授業の継続、徹底した感染防止対策の実施など新たな学びのスタイルや新たな生活のスタイルが求められることとなります。組合員がそれぞれの立場で運営に参加できる生協を目指します。北見工大生協はみんなで出資して、みんなで運営・利用する組織です。こんな状況だからこそ様々な階層が集まる生協の強みを発揮します。

一方で生協の経営面では20年度の赤字解消が大きな課題となります。21年度は人件費や物件費の削減と合わせて、利用増を図りますが予算段階では赤字となります。

- ・組合員の声カードやメニュー開発、組合員選書の棚の設置など組合員の声に応え、声が反映される店舗づくりをすすめていきます。
- ・入学から卒業までそれぞれの学年や行事等に合わせ学生の学びを支援する仕組みや読書推進、キャリアアップ支援など学生自身の成長をサポートする生協を目指します。
- ・授業の関係で学生組合員が学内にいないことも想定されますが、オンラインや対面での繋がりを作りながら学生同士のコミュニティ形成に寄与します。

✓食堂部

- ・当面はテイクアウトとイートインを併用した営業
- ・組合員によるメニュー開発、産直企画、健康管理や栄養提案といったキーワードで運営

✓購買部

- ・組合員の声による商品選定や勉学に必要な商品の提案
- ・必要なことがすぐに相談できる店舗

✓書籍

- ・確実な教科書販売
- ・計画的な企画実施による利用回復、学生による選書、教職員による選書
- ・学生のキャリアアップを支援する店舗

✓サービスカウンター

- ・組合員加入活動促進
- ・自動車学校の取り組み強化
- ・共済給付活動の強化

✓本部

- ・組合員のよりよい生活のための支援
- ・理事会を中心に、大学と協力し感染防止対策の徹底
- ・経営再建（黒字体質化）のため人件費や経費の削減